別記様式第5号

強い水産業づくり交付金事後評価報告書

		作成部署名　明和町　産業課	
政 策 目 的		漁港機能の高度化	
政 策 目 標		漁港機能高度化目標	整理番号　２１－１
事業実施主体		明和町	
実 施 地 区		大淀漁港	
実施期間及び目 標 年 度		実 施 期 間	目 標 年 度
		平成２１年度	平成２１年度
交 付 金 額		10,000,000円	
事業計画の内容		入出港時の潮待ち時間を解消するため、航路浚渫を行うことで、潮待ち時間の解消と航行の安全を図った。　除砂：3,200m^2	
評価結果	成果目標	水産物生産性コストの削減　潮待ち時間の解消による航行時間の短縮	
	現 状 値	（２１年度末時点） ０時間	
	目 標 値	（２１年度末） ０時間	
	(1)現状値の説明	（統計データ、計算のプロセス、取組の実績等現状値を出すに至った経緯、理由を記載） 事業実施前は、１航海あたり潮待時間が０．１７時間（１０分）であったが、本事業の実施により解消された（漁業者ヒアリング）。	
	(2)地域への経済効果 （ハード事業のみ）	（計画策定時の予定と目標年度における現実の数字との比較、分析） 事業実施前には大潮の干潮時には船底をこするため、１航海あたり０．１７時間の（１０分）の潮待ち時間が発生していた。この潮待ち時間の解消を目標として航路浚渫を行い、浚渫後は安全な航路水深ならびに航路幅が確保されることにより、潮待ち時間の解消が図られた。 潮待ち時間の解消により、入出港時間を制限されることなく効率的な漁業活動が営まれている。	
	(3)所　　見	浚渫にともない発生した土砂を近隣のアサリ漁場に覆砂し、漁場の整備を行った。	
	(4)評価機関の意見等	（評価機関等の評価を受けた場合に記入） －	
今後の改善方向等に関する分析		漁港上流部に位置する、大堀川潮止樋門の開閉について、建設部局と協議し、開閉を頻繁に行い、航路に土砂の堆積を少なくし、浚渫時期の遅延を図る。	